2020年7月15日

学生・教職員 各位

沖縄女子短期大学
危機管理対策委員長（学長）平田 美紀

沖縄女子短期大学

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた行動指針について

文部科学省より6月5日付けで発出された「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン」を受け、本学では「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた授業に関するガイドライン（行動指針）について〈第3報〉」（2020年6月15日付け）を策定し公表しました。

その後、沖縄県は「第2波、第3波に備えた警戒レベル指標の策定について」（令和2年7月2日 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部）を発出し、引き続き感染防止を図っていくことが明記されました。

本日、69日ぶりの県内感染者の報告を受け、改めて、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた本学の行動指針として策定しましたので十分に内容を理解の上、行動するように心がけて下さい。

1. 新型コロナウイルス感染症対策に係る基本方針

学生やすべての教職員の健康を確保しつつ、本学の行う教育・研究活動を持続可能にしていくために、次の事項を徹底すること。

- （1） 感染防止のため、3つの条件（換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、近距離での会話や発話が生じる密接場面）が重なることを徹底的に回避する。
- （2） 感染源を断つことが重要であるため、学内への訪問者等は、原則入構を禁止する。
- （3） 感染収束が予測不可能なため、対面授業開始後も分散登校や遠隔授業を継続する。

2. 基本的な感染予防（接触・飛沫感染防止策）～“感染しない・させない”の意識を軸に～

〔新しい生活様式〕を日常に据えていきましょう。

- （1） マスク着用を習慣にすること。
- （2） 水と石けんによる手洗いを徹底すること。
- （3） 入口及び施設内に設置されているアルコールによる手指の消毒を、特に入構時、外出後、食前、共有物に触れる前後等は徹底すること。
- （4） 人との距離は最低1m空け、対面で座らない、人混みを避けること。
- （5） 食事は、複数人で同一箸等を使い食しないこと。
- （6） 施設設備（ドアノブ・エレベータボタン等の人が頻繁に触れる箇所）の消毒を実施すること。
- （7） 構内に不特定多数の者が制限なく出入りする状態を生まないための措置を講じる（発熱や風邪症状等の疑われる症状のある方の入構制限や、検温の積極的实施等）こと。

3. 外部講師等の授業・講演について

外部から講師を招聘する授業や講演会については事前に稟議をあげ、緊急性・必要性の観点から優先的に実施の可否を判断するが、実施する場合は密を避けるための会場配置等に配慮すること。

4. 出張・派遣・遠征等：8月31日まで、原則として禁止

教員・学生の県外・海外へ出張・派遣・遠征については、原則として8月31日までは禁止します。県外・海外への旅行もできる限り自粛すること。但し、やむを得ない事情により渡航する場合は事前に届け出をし（教学課）、帰省後は2週間の自宅待機をすること。

5. マスク着用について

入構に際しては、症状がなくてもマスク着用を厳守すること。マスクを着用していない場合は、入構することができません。ただし、運動を行う場合はマスクの着用は必要ありません。また、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外し熱中症への対応を優先すること。

6. サークル・クラブ活動について

次の条件を満たす場合にのみ、サークル室の利用も含めて活動を許可します。相談・申請等は教学課にて行って下さい。

(1) 顧問・監督など責任者（専任教職員）のもとで申請を行っていること。

(2) 次の感染防止対策等を遵守できること。

①再開の際は、運動不足等も考慮し、怪我防止には十分に留意すること。

②サークル室の利用は、三密回避のため一度の利用人数を5～6名とすること。

③サークル室での食事は控えること。

④サークル室の利用は19時までとすること。

⑤教学課や顧問・監督など責任者（専任教職員）と連携を取って活動すること。

⑥サークル室の利用を含め、活動中における感染防止対策が不十分であると判断された場合は、やむを得ず活動中止とする場合もあること。

7. 感染の不安が生じた場合

本学ホームページに掲載された「新型コロナウイルス感染症に対する問い合わせ」（2020年4月7日付け）にそって行動して下さい。

8. いずれかの症状がある場合

息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱の症状のいずれかがある場合は、最寄りの医療機関（夜間の場合は救急病院）に連絡をして、その指示に従って下さい。

以上